



22

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年10月4日号

編集／毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

元フィギュアスケーター



町田樹さんコラム「今を生きる 今を書く」、連載開始！

10日(土)＝運動面



10月から国学院大助教としてのキャリアをスタートさせた元フィギュアスケート選手、町田樹さん＝写真＝のコラムがスタートします。研究生生活とコラム執筆を同時並行で進めていくことを意図し、筆者自らタイトル名を

刻みました。月1回のペースで、スポーツや身体表現の世界を多角的に論じます。

第1回のテーマは「スポーツ文化の未来と今」。なぜ、人間はこうも飽かず、スポーツに夢中になれるのだろうか——。町田さん

の哲学的な問い掛けからコラムは始まります。早大大学院で博士号(スポーツ科学)を取得し、かつて「氷上の哲学者」の異名も取った町田さんらしい考察です。コラムの連載に託した思いにもご注目ください。

## 論点

### 証拠改ざん事件から10年

7日(水)＝オピニオン面



大阪地検特捜部の証拠改ざん事件から10年。検察は失墜した信頼を取り戻すため、供述に依存する捜査からの脱却を図ってきました。改革には一定の評価がありますが、今も「人質司法」との批判は続

きます。検察は変わったのか、検事総長の林真琴さん、逮捕・起訴され無罪が確定した元厚生労働事務次官の村木厚子さん、映画監督の周防正行さんの3人に聞きました。



### 東日本大震災10年へルポ企画 被災地の今を伝える「続・沿岸南行記」



東日本大震災から来年3月で10年。毎日新聞は震災発生直後から2011年5月にかけて、記者が沿岸の被災地をリレーして南下し、被災者の声を伝える「沿岸南

行記」を社会面から38回連載しました。「10年」の節目に向け、盛岡・仙台・福島3支局の記者が再び当時取材した人たちを訪ね、被災地の今を伝えるルポ企画

「続・沿岸南行記」を始めます。

【写真説明】

三陸鉄道が近くを通る十府ヶ浦公園のパークゴルフ場。新しい防潮堤で、震災前は見えていた海が見えない。岩手県野田村で2020年9月17日、安藤いく子撮影

## 特集ワイド

### 「雲博士」荒木健太郎さんに聞く 豪雨・天災への対処法

6日(火)＝夕刊特集ワイド

近年、毎年のように豪雨や台風などによる風水害が発生しています。今年は7月に九州豪雨があり、大きな被害をもたらしました。激変しているように感じる天気メカニズムや私たちが気を付ける

べきことは何なのでしょう。雲に関する著書を複数執筆し、新海誠監督のアニメ映画「天気の子」で気象監修を務めるなど今注目の「雲博士」、気象庁気象研究所研究官の荒木健太郎さん(35)＝

写真＝に豪雨・天災への対処法を聞きました。



### 竹橋の 窓から

編集後記



先般、毎日新聞をネット経由で読んだ方へのインタビューの結果、読者の皆様から「読者のため」と「読者のため」というコメントをたくさんいただきました。ありがとうございます。読者の皆様から「読者のため」と「読者のため」というコメントをたくさんいただきました。ありがとうございます。

(千代崎聖史)